

市立

2006 年（平成 18 年）12 月 1 日発行

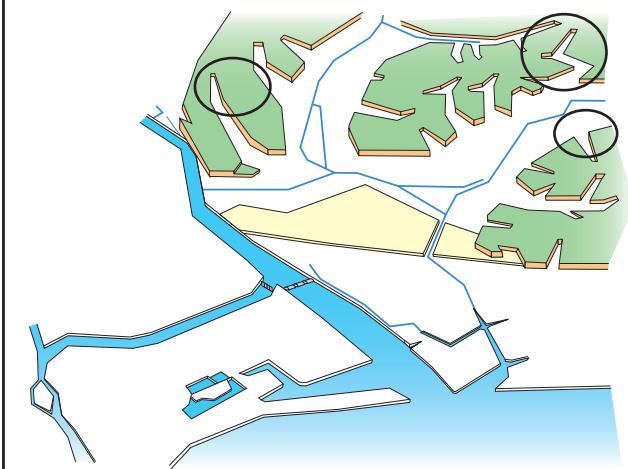
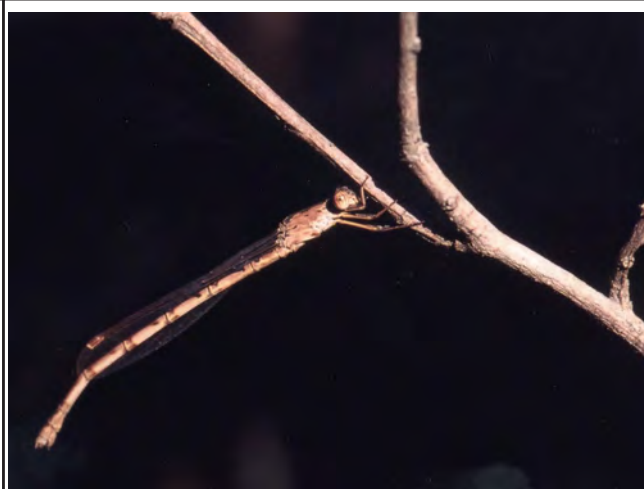
市川自然博物館

12-1 月号 だより

（通巻 107 号）



自然博物館のめ



ホソミオツネトンボ

左上：枝にとまって越冬する 2 匹。
左下：春、クモの巣にひっかかった。

右上：全体のすがた。
右下：北部の雑木林で越冬する。

今年度の特集は、博物館の観察日誌に記録された様々な内容を、「生き物カレンダー」としてまとめました。今月は『12・1 月』を紹介します。



いちかわ 生き物カレンダー

12月・1月

晩秋から初冬への季節、春から夏へよりも、気候や生き物の営みは急に変化していきます。厳しい冬を乗り切るために、次の春を迎えるために、生き物は様々な方法を見せてくれます。今年度の特集では、平成10年度(1998年)以降の博物館の自然観察記録を、歳時記風にまとめて紹介しています。

○市川の12月

12月に入ると、日中の気温も一気に低くなります。昼間の時間は冬至(12月22日前後)が一番短いのですが、日の入りは12月上旬が一番早く、北部の谷津では午後3時を回ると谷底には陽が届かず薄暗くなります。また12月は2月とともに降水量が少ない月です。特に1998年、2005年には1ヶ月間以上まとまった雨が降りませんでした。2005年はほとんどのコブシの木が年末までに花芽を落としてしまい、晩秋の極端な少雨が、春の植物の成長に影響しているとも言えます。

モミジの紅葉は12月上旬に見ごろを迎えますが、サクラやケヤキなどはすでに葉を落として、すっきりとした樹形を現します。木枯らしが吹くたびに林は見通しがよくなり、スギやシラカシなどの常緑樹の緑が目立つようになります。

木々の枝先までよく見られるようになると、鳥の姿を見つけやすくなります。市川周辺では、冬を過ごすために渡ってくる野鳥で数も種類も増えバードウォッチングが楽しい季節になります。

○市川1月

1月に入ると、朝の気温が氷点下になる日が多くなります。その年の最低気温も記録され、2001年には北部で氷点下10度以下を記録しています。林や畑の多い北部の地域では、大きな霜柱が日中でも融けずに残り、八幡地域などの市街地や東京湾沿いの行徳地域との気温差を感じます。まとまった積雪も見られ、2001年には北部で20cm近く、2006年には市街地でも10cm以上の積雪があり、何日も融けずに残りました。

霜が降りたり降雪によって枯れ草が倒され、草原も広々と見渡せるようになっていきます。反対に、地面近くは、ハルジオンやヨモギなどの緑の草の葉が被うように張り付いて生え、冷たい風を避けて春に備えています。

動物もいない季節のように思われますが、晴れて気温の上がる日中には、成虫で越冬する昆虫が見られます。ルリタテハやウラギンシジミなどのチョウの仲間や、ホソミオツネントンボなどが林の近くで見つかることがあります。

いちかわ生き物カレンダー12月

植物のうごき

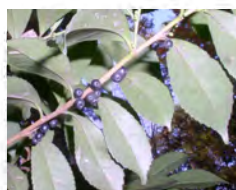


イチヨウの黄葉

センダンの実が
たわわに実る

落葉樹の紅葉黄葉
見ごろをむかえる

ピナンカズラの
真っ赤な実が
見られる



ヒサカキ

ヒサカキの実が
黒く熟す



ヒヨドリジョウゴ

雑木林のふちで
ヒヨドリジョウゴの
赤い実が目立つ



イヌシデ

地面に落ちた
イヌシデの実を
野鳥が割って食べる



ビワ

ビワの花が咲く

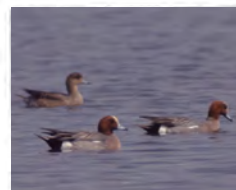
動物のうごき

十二月上旬

市内の林で猛禽類のオオタカの姿がよく見られるようになる

ミソサザイが見られことがある

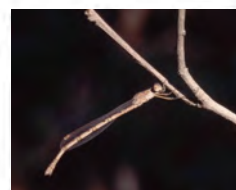
里見公園下の江戸川に
ヒドリガモの群れが来る



ヒドリガモ

アカタテハが見られる

ホソミオツネトンボの
越冬する姿が見られる



ホソミオツネトンボ

十二月中旬

常緑樹の枝に

ウラギンシジミの姿が見られる

江戸川放水路でウミアイサや
カンムリカイツブリが見られる

水路で餌を取るコサギが見られる

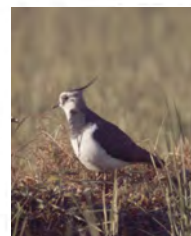
ツグミの群れが見られる

オオカマキリの卵が目立つ

2000年頃までは冬の田んぼで
タゲリが見られた



オオカマキリの卵



タゲリ

十二月下旬

木が落葉して
鳥の巣が見つけやすくなる

チュウヒやノスリなどの猛禽類が見られる

朽木の中でクワガタの幼虫が見つかる

朽木の中で越冬するスズメバチ類の
新女王が見つかる



越冬中のコガタスズメバチ

いちかわ生き物カレンダー 1 月

植物のうごき

ロウバイの花が咲き
甘い香りがあたりにたよう



キツタ

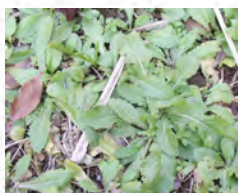
キツタの実が熟す



ガガイモ

ガガイモの実がはじけ
純白の綿毛をつけた種が飛び出す

秋に実ったどんぐりは
少し引っ張っても抜けないぐらい
深く地中に根を伸ばしている



ハルジオン

春早くに花を咲かせる
ハルジオンなどの
地面に張り付いている
青々とした冬越しの葉が目立つ

ノミノフスマ、ハハコグサの
芽だしが見られる

大雪でサウラなどの針葉樹が
折れることがある

動物のうごき

冬だけ見られる
ウスバフユシャクが見られる

暖かい日にはホソミオツネントンボが動く

冬鳥の人気者ルリビタキが見られる

木の下で
ムカデ、ヤスデ、ワラジムシ、
ダンゴムシが
集まって越冬している

林の中をヤマシギが歩く



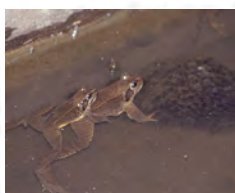
越冬中のヤスデなど

冬鳥のツグミの仲間
ツグミ、シロハラ、アカハラが出揃い
稀にトラツグミが見られる

野鳥の種類が増える
稀に記録される種類が見られる時がある
ウソ、アトリ、キクイタダキ、
トモエガモ、ヨシガモなど

腐葉土の中にはまるまると太った
カブトムシの幼虫が見られる

クリの木の幹に
クリオオアブラムシの卵が
びっしりついている



ニホンアカガエル

ニホンアカガエルの産卵始まる

放水路のヨシ原で
オオジュリンが見られる

雪の上の足跡や食痕、糞など
ノウサギの痕跡が見つけやすい

林の中で、
カラスとオオタカなどの猛禽類の
争いが起こることがある



ノウサギの足跡



カラスの群れ

一
月
上
旬

一
月
中
旬

一
月
下
旬

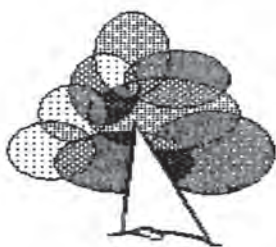


街かど自然探訪

さいわい

幸・行徳南部公園

行徳南部公園内には、大きなユズリハの樹があります。ユズリハは、新しい葉が出てきてから古い葉が落ちることから、「譲り葉」の名前が来ていて、正月飾りにも使われます。雄株と雌株があり、4月から5月に花を咲かせます。11月中旬頃、公園内では雌株がたわわに実をつけていました。他にも大きなイチョウやケヤキ、クロマツなどの樹木が茂っていて、梢にはシジュウカラやヒヨドリ、冬季にはメジロやツグミなどが観察できます。



くすのきのあるバス通りから No.52

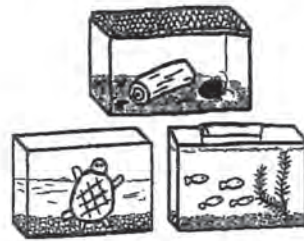
庭にタヌキがいました

11月1日外出から帰ると、庭の駐車スペースにタヌキがいました。静々とバックで定位置に入れようとしたら、側の自転車の下へ移動しました。「ネコかイヌじゃないの……あ、タヌキだ。本当だ。」と同乗していた知人。おびえる様子もなく、見られてもこちらを見返しました。首から背中にかけて、赤くただれて、皮膚が毛が塊のようになって、ときどきポリポリと掻いていました。窓を開けて見

ても逃げません。風もなく、陽だまりになっているし、エアコンの屋外機と自転車と車に囲まれ落ち着けるのでしょうか、1時間ぐらいそこにいて立ち去るときも、こちらをじっと見ていきました。9月2日に北方3丁目に住む友人の家の庭にタヌキがきて、ネコの餌をやったら食べたそうです。八幡5丁目の京成線沿い友人の家の庭ではハクビシンが住み着いているらしいです。

(M. M.)

博物館で こんないきもの飼ってます！



カメの冬越し

いきものは、[活動する]≦[餌を食べる]が成り立たないと弱ってしまいます。動物園の獣医さんの話だと、[餌を食べる]≠[消化]があるそうです。特に変温動物のカメは温度が低下すると、内蔵の活動も落ちて、食べた餌が悪くすると体内で腐ってしまうのだそうです。体力のあまりない今年生まれの小さいカメは、冬眠させない方がよいようですが、その場合もきちんと保温して、餌の食べ具合、糞の様子チェックが大切です。



〇 〇

こんなふうに飼っています

※ ※ ※ レイアウト ※ ※ ※

- ・保温 … ガラスの水槽に水中ヒーターを入れて、温度を上げます。カメの場合、25℃ぐらいあると、よく餌を食べ安心ですが、健康ならば多少の温度変化には耐えられるので、あまり神経質に温度設定しなくても大丈夫です。
- ・ふた … ヒーターを入れると水分の蒸発が激しいので、蓋をします。カメは、陸地にも上がるので、蓋をしたほうが水槽全体の温度も上がります。
- ・その他 … 水槽はカメに日向ぼっこをさせるために、窓際に置くと良いのですが、夜間には冷え込むので注意が必要です。

※ ※ ※ 餌 ※ ※ ※

市販のカメ用ペレットを毎日与えています。消化や栄養のバランスを考えると冬場はあまりいろいろやらない方が良いでしょう。



◆大町公園より

- ・園路を歩いていると突然キビタキのオス2羽が争うように飛び出してきました(9/5)。手が届きそうな距離でした。

金子謙一(自然博物館)

- ・一年半ぶりにオオウラギンスジヒョウモンを見ました(9/5)。

◆大町周辺より

- ・最近市川にたくさん発生しているナガサキアゲハのメスが民家の花壇に訪れ至近距離で撮影ができました(9/22)。

以上 土居幸雄さん(大町在住)

◆大野町周辺より

- ・大柏川の浜道橋からJRの陸橋にかけてボラの群れが沢山飛び跳ねていました(10/28)。昨年よりかなり増えているようです。

吉田 毅さん(柏井町在住)

◆本北方周辺より

- ・ムラサキツバメと八幡でツマグロヒョウモン♀の新鮮な個体を目撃しました(10/28)。ムラサキツバメははじめて見ました。

熊谷宏尚さん(本北方在住)

◆国府台より

- ・里見公園でニイニイゼミが鳴いていました(9/10)。

◆坂川旧河口周辺より

- ・土手の草むらにヒゲナガカメムシ、ホソヘリカメムシがいました(9/10)。

以上 K.H. さん

- ・土手上の木から次々に飛んできたヤマガラ2羽がエノキの枝にとまり、おそらくはエノキの実を両足にはさんで嘴で叩きはじめました(9/10)。今日は、小塚山公園、じゅんさい池、須和田公園でもヤマガラを見ました。移動しているようです。

- ・ヒドリガモ4羽が里見公園下江戸川を編隊を組んで飛びました(9/30)。この秋初めての観察です。

◆菅野より

- ・工場跡地の草地にいたチュウサギ1羽に対し、チョウゲンボウが本気で追いかけたのではないと思いますが、驚いたチュウサギは必死で飛び上がって逃げました(9/17)。

◆真間より

- ・真間山弘法寺の境内の林からツグミの声が響いてきました(10/22)。初認です。また、上空には2羽のアマツバメが旋回しながら西へ移動していくのがみえました

以上 根本貴久さん(菅野在住)

◆福栄より

- ・行徳野鳥観察舎で、ナガサキアゲハをみました(9/10)。

佐藤 達夫さん(市内在勤)

9月から10月上旬にかけては曇天の日が多く、台風なみの大雨が降り、10月中旬からやっと秋晴れが続きました。



行事案内



観 察 会 お申し込みが必要な行事です。

○いきもの観察会 …採集を通して楽しみながら自然に親しみます。/対象・定員：先着親子 10 組

○じっくり観察会 …野外観察をしながらわかりやすく解説します。/対象・定員：先着 20 名

	テ ー マ	対 象	日 時	場 所	受付開始日
いきもの観察会	いきものの冬越し	親子	1 月 14 日(日)午前	柏井雑木林	12 月 16 日～
じっくり観察会	地形と地層の観察	一般	2 月 11 日(日)午前	下貝塚周辺	1 月 20 日～

〒申し込み方法〒

往復はがきに、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、参加したい行事名を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

季節を感じる 散策会 お申し込みの必要はありません(雨天中止)。

*集合場所など、詳しくは博物館に直接おたずねください。

テ ー マ	日 時	場 所
野鳥のにぎわい	1 月 21 日(日) 午前 10 時～11 時 30 分	長田谷津
冬の放水路	2 月 18 日(日) 午前 10 時～11 時 30 分	江戸川放水路

自 然 講 座 お申し込みの必要はありません。直接会場にお越しください。

*会場 八幡市民談話室(国道 14 号線本八幡駅前交差点) *時間 午後 6 時～8 時

1 月 20 日④	「蝶よりもきれい? な蛾」	(担当: 清野 元之)
27 日④	「地形から川の始まりを探す一国分川」	(担当: 宮橋美弥子)
2 月 3 日④	「ミツバチ」	(担当: 小川 晃)
10 日④	「市川の動植物 基本ブック」	(担当: 金子 謙一)

湿地の環境整備をお手伝いして下さいますか。(雨天中止)

- ・日 時 12 月 24 日④、1 月 28 日④ 午前 10 時～12 時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・はじめて参加される方は…湿地の中に入る作業もあります。作業内容や身支度、駐車場などについてご案内いたしますので、ご面倒でもまずは博物館にお電話でお問い合わせください。

野草名札付けのお手伝いをして下さいますか。(申し込み不要・雨天中止)

- ・日 時 1 月 7 日④、2 月 4 日④ 午前 10 時～12 時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・自家用車をご利用の場合は、博物館までお電話でお問い合わせください。



年末年始の開館
年内は 27 日まで
年始は 3 日より
開館いたします。

市立市川自然博物館だより
第 18 巻 第 5 号 (通巻第 107 号)
発行日/平成 18 年 12 月 1 日
編集・発行/市立市川自然博物館
〒272-0801 千葉県市川市大町 284 番地
☎047(339)0477
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/haku>